

病理検体提出時の確認事項

【検査検体について】血液を検体とする場合は以下不要です。下記事項をご確認のうえ、検体をご準備ください。
ご準備いただけましたら、病理検査報告書とともに当院までご送付ください。

1. 提出物

- 未染色スライド 10枚
- (FFPE、5–10 μm厚)
- HE染色スライド 1枚
- 病理検査報告書を同封

2. 必須記載情報

- 採取日
- 採取部位
- 採取方法(手術または生検)
- がん腫瘍含有率

3. 再検査・再提出について

- 検体の状態により検査が中断した場合
- 1回に限り追加費用なく再検査可能
- 再検査を希望される場合、改めて検体の再提出が必要

検体可否の判断に迷う場合は、事前に当院までご相談ください。

病理検体作成時の注意点

検体の固定条件や保存状態により、検査の成否に影響することがあります。提出前に以下をご確認ください。

1. 固定・保存に関する注意

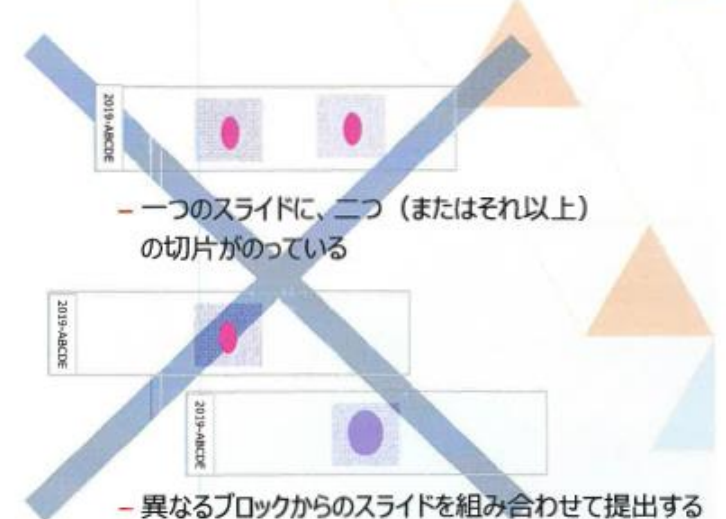
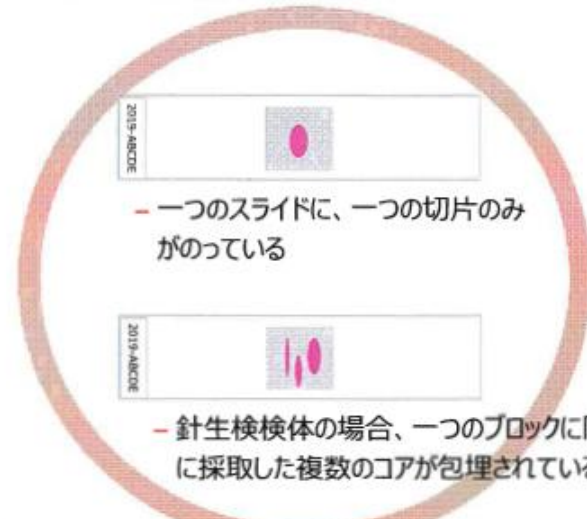
- 中性緩衝ホルマリン固定を推奨します（緩衝作用のないホルマリン、酸性ホルマリン固定検体は推奨されません）。
- 固定時間が48時間を超える検体や、作製から3年以上経過した古い検体では、検査不良の可能性があります。

2. 検体選択のポイント

- 腫瘍がなるべく多く含まれる部位
 - 腫瘍含有率 20%以上
 - 可能であれば 50%以上

提出スライド作成の例

■ 一つのスライドガラスに、一つの切片のみをのせてスライドを作製してください。一つのスライドに複数の切片がのっている場合は、検査を受け入れることができません。



FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル

腫瘍含有率が不明な場合は当院で確認可能です。事前にご一報ください。